

授業計画（シラバス）

<p>■科 目</p> <p style="text-align: center;"><b>歯内療法学</b></p>	<p>■講師名</p> <p style="text-align: right;">吉田 隆</p>
<p>I 部 2 学年</p> <p style="text-align: center;">前期</p> <p style="text-align: center;">10 コマ (1 コマ 90 分授業)</p>	<p style="text-align: center;">総時間 20 時間</p> <p style="text-align: right;">講義 1 単位</p>
<p>■学修概要</p> <p>歯の病変としての硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周炎の成立機序とその治療法について学ぶ。これらの知識をもとに、歯科診療従事者としての治療の流れを理解し、器具、器械ならびに歯科材料の取り扱い方や管理法などについても習得する。</p>	
<p>■授業目的、到達目標</p> <p>臨床歯科医学である本科目は、歯科衛生士業務の「歯科診療補助」と密接に関わる。歯科診療補助の際、何故このような処置を行うのか、何故この薬剤を応用するのか等々の知識が必要になる。このことは換言すれば、歯科保健医療を担うチームの一員としての自覚を身につけることにも繋がると考えている。</p>	
<p>■授業方法</p> <p>授業の進行は、学生の皆さんの理解状況を鑑みながら、その進行を決定していく。また教科書以外に、講義ノートを配布、使用する予定です。この講義ノートは、空欄が随所であり授業に出席した学生さんが講義ノートを完成するようになっています。その意味からも極力欠席しないよう心がけていただきたい。</p>	
<p>■教科書（書籍名・出版社）</p> <p>最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患「保存修復・歯内療法」  <span style="float: right;">全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版刊</span></p>	
<p>■成績評価・講義上の注意</p> <p>授業中の平常点を加味しつつ、授業最後に実施する定期試験により評価する。</p>	
<p>■実務経験</p> <p>歯科医師として臨床実務経験を持つ教員が、実際の臨床経験を踏まえて授業展開を行う。</p>	
<p>■授業計画（講義の流れ）</p>	
<p>1</p>	<p>本科目の授業展開について解説、歯内療法学概要解説、診査法、歯髄疾患(その1)</p>
<p>2</p>	<p>歯髄疾患(その2)</p>
<p>3</p>	<p>根尖性歯周炎、歯髄疾患ならびに根尖性歯周炎の処置方針</p>
<p>4</p>	<p>歯内療法に関わる歯科衛生士、歯髄保存療法(その1)</p>
<p>5</p>	<p>歯髄保存療法(その2)、歯髄除去療法(その1)</p>
<p>6</p>	<p>歯髄除去療法(その2)、根管処置(その1)</p>
<p>7</p>	<p>根管処置(その2)</p>
<p>8</p>	<p>外科的歯内療法処置、歯内療法時の偶発症(その1)</p>
<p>9</p>	<p>歯内療法時の偶発症(その2)、その他(幼若永久歯の処置、暫間的間接覆髄法など)</p>
<p>10</p>	<p>定期試験、解答解説</p>